

世界8資産ファンド

[安定コース・分配コース・成長コース]
<愛称：世界組曲>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の8つの資産（国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リート）にバランスよく分散投資を行い、安定的な投資成果を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2021年5月11日～2021年11月8日

| 第31期 | | 決算日：2021年11月8日 | |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|
| | | 安定コース | 成長コース |
| 第31期末 (2021年11月8日) | 基準価額 | 13,117円 | 14,430円 |
| | 純資産総額 | 3,327百万円 | 5,168百万円 |
| 第31期 | 騰落率 | 4.8% | 8.8% |
| | 分配金合計 | 65円 | 105円 |
| 第179期 | 決算日：2021年6月8日 | 第182期 | 決算日：2021年9月8日 |
| 第180期 | 決算日：2021年7月8日 | 第183期 | 決算日：2021年10月8日 |
| 第181期 | 決算日：2021年8月10日 | 第184期 | 決算日：2021年11月8日 |
| | | 分配コース | |
| 第184期末 (2021年11月8日) | 基準価額 | 10,661円 | |
| | 純資産総額 | 18,446百万円 | |
| 第179期～ 第184期 | 騰落率 | 6.6% | |
| | 分配金合計 | 90円 | |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用の概要

- (1) 「世界8資産ファンド 安定コース」、「世界8資産ファンド 分配コース」、「世界8資産ファンド 成長コース」の各ファンドは、「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」、「海外リートマザーファンド」の各受益証券への投資を通じて、国内、海外およびエマージング諸国の各債券、国内、海外およびエマージング諸国の各株式、国内および海外の各不動産投資信託証券（リート）に実質的に投資します。
- (2) 各ファンドにおける各マザーファンドへの配分比率は以下を基本（これを「基本配分比率」といいます。）とします。

【各コースの基本配分比率】

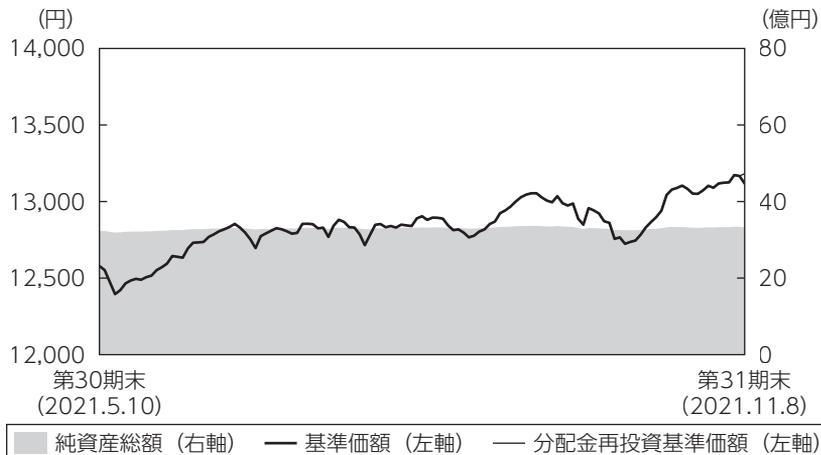
| 資産/各コース | 安定コース | 分配コース | 成長コース |
|----------|-------|-------|-------|
| 国内債券 | 40% | 20% | 5% |
| 海外債券 | 15% | 30% | 5% |
| エマージング債券 | 5% | 10% | 10% |
| 国内株式 | 10% | 5% | 35% |
| 海外株式 | 5% | 10% | 15% |
| エマージング株式 | 5% | 5% | 10% |
| 国内リート | 10% | 5% | 10% |
| 海外リート | 10% | 15% | 10% |

| 資産 | 実質的な投資をするマザーファンド | 各マザーファンドのベンチマーク |
|----------|------------------|--|
| 国内債券 | 国内債券マザーファンド | NOMURA-BPI総合 |
| 海外債券 | 海外債券マザーファンド | FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース） |
| エマージング債券 | エマージング債券マザーファンド | JPMorgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（円ベース） |
| 国内株式 | 国内株式マザーファンド | 東証株価指数（TOPIX）（配当込み） |
| 海外株式 | 海外株式マザーファンド | MSCI-KOKUSA I 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし） |
| エマージング株式 | エマージング株式マザーファンド | MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース） |
| 国内リート | 国内リートマザーファンド | 東証REIT指数（配当込み） |
| 海外リート | 海外リートマザーファンド | S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース） |

運用経過の説明

■ 世界8資産ファンド 安定コース

■ 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、内外のリートや株式市場が上昇したことなどが影響し、基準価額は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

| 組入ファンド | 騰落率 |
|-----------------|-------|
| 国内債券マザーファンド | 0.3% |
| 海外債券マザーファンド | 3.5% |
| エマージング債券マザーファンド | 5.3% |
| 国内株式マザーファンド | 10.8% |
| 海外株式マザーファンド | 16.6% |
| エマージング株式マザーファンド | 0.4% |
| 国内リートマザーファンド | 2.6% |
| 海外リートマザーファンド | 21.7% |

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第31期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------------------------|---------|--|
| | (2021年5月11日 ～2021年11月8日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 70円 | 0.548% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,842円です。 |
| (投信会社) | (35) | (0.274) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (32) | (0.247) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (4) | (0.027) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 3 | 0.023 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式) | (1) | (0.010) | |
| (先物・オプション) | (0) | (0.000) | |
| (投資信託受益証券) | (0) | (0.001) | |
| (投資証券) | (1) | (0.011) | |
| (c) 有価証券取引税 | 1 | 0.006 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (1) | (0.004) | |
| (投資信託受益証券) | (0) | (0.000) | |
| (投資証券) | (0) | (0.001) | |
| (d) その他費用 | 3 | 0.023 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (2) | (0.013) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (1) | (0.007) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 77 | 0.599 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

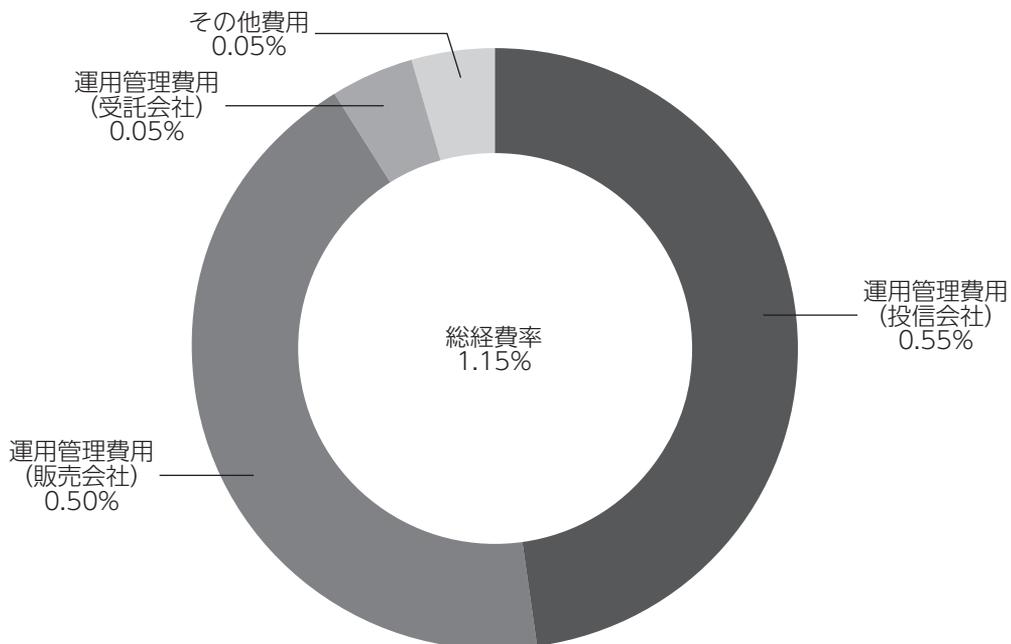
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



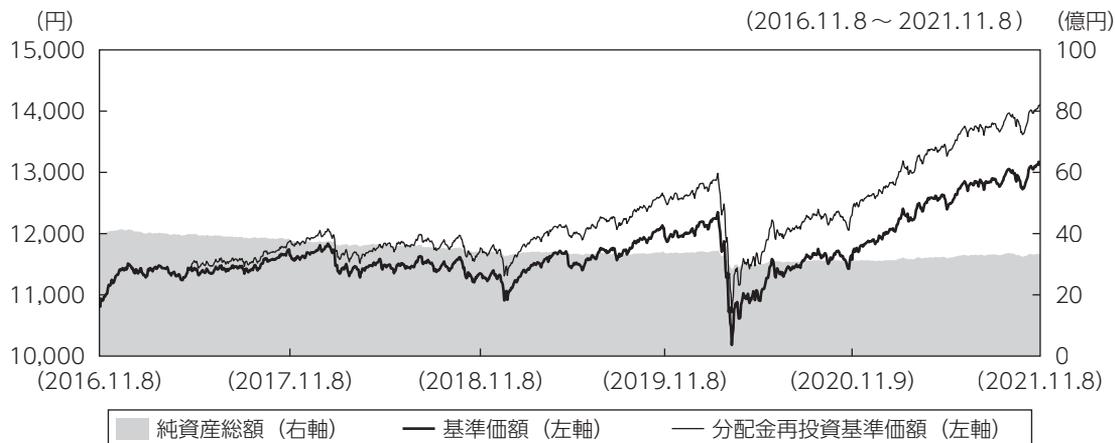
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2016年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

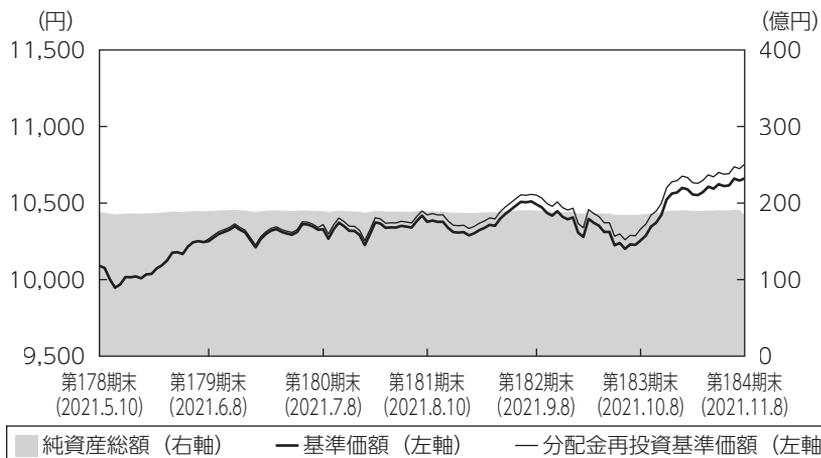
| | 2016年11月8日 期首 | 2017年11月8日 決算日 | 2018年11月8日 決算日 | 2019年11月8日 決算日 | 2020年11月9日 決算日 | 2021年11月8日 決算日 |
|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) (円) | 10,942 | 11,643 | 11,351 | 11,957 | 11,574 | 13,117 |
| 期間分配金合計 (税引前) (円) | — | 235 | 180 | 165 | 125 | 150 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | — | 8.6 | △1.0 | 6.8 | △2.1 | 14.7 |
| 参考指数の騰落率 (%) | — | 10.5 | 0.3 | 7.2 | △1.3 | 14.8 |
| 純資産総額 (百万円) | 4,004 | 3,792 | 3,427 | 3,368 | 3,082 | 3,327 |

(注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

(注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております。

■ 世界8資産ファンド 分配コース

■ 基準価額等の推移



第179期首 : 10,090円
 第184期末 : 10,661円
 (既払分配金90円)
 騰落率 : 6.6%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、海外株式や海外リート市場が上昇したことなどが影響し、基準価額は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

| 組入ファンド | 騰落率 |
|-----------------|-------|
| 国内債券マザーファンド | 0.3% |
| 海外債券マザーファンド | 3.5% |
| エマージング債券マザーファンド | 5.3% |
| 国内株式マザーファンド | 10.8% |
| 海外株式マザーファンド | 16.6% |
| エマージング株式マザーファンド | 0.4% |
| 国内リートマザーファンド | 2.6% |
| 海外リートマザーファンド | 21.7% |

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第179期～第184期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------------------------|---------|--|
| | (2021年5月11日 ～2021年11月8日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 62円 | 0.603% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,337円です。 |
| (投信会社) | (31) | (0.301) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (28) | (0.274) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (3) | (0.027) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 3 | 0.025 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式) | (1) | (0.011) | |
| (先物・オプション) | (0) | (0.000) | |
| (投資信託受益証券) | (0) | (0.002) | |
| (投資証券) | (1) | (0.012) | |
| (c) 有価証券取引税 | 1 | 0.006 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (0) | (0.005) | |
| (投資信託受益証券) | (0) | (0.000) | |
| (投資証券) | (0) | (0.002) | |
| (d) その他費用 | 3 | 0.028 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (2) | (0.019) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (1) | (0.008) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 68 | 0.662 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

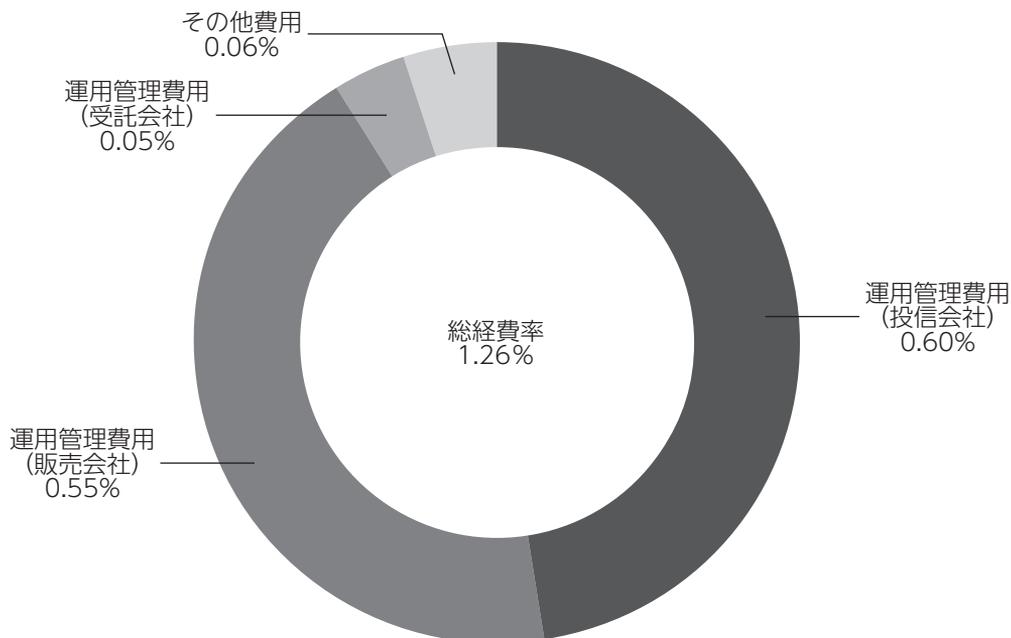
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



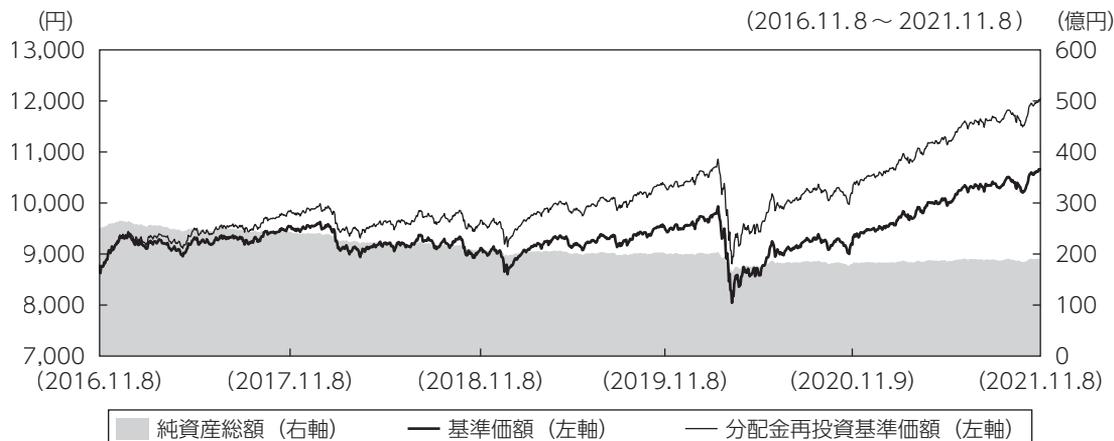
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



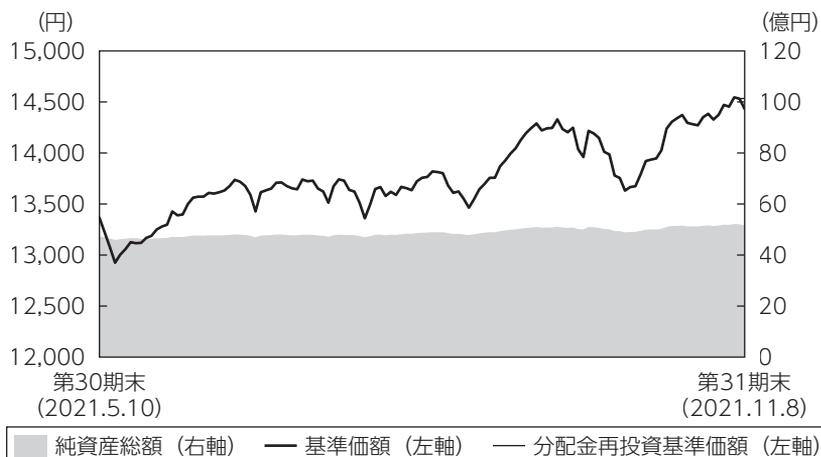
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | | 2016年11月8日 期首 | 2017年11月8日 決算日 | 2018年11月8日 決算日 | 2019年11月8日 決算日 | 2020年11月9日 決算日 | 2021年11月8日 決算日 |
|----------------|-------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) | (円) | 8,769 | 9,531 | 9,116 | 9,506 | 9,182 | 10,661 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) | — | 300 | 240 | 240 | 180 | 180 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) | — | 12.3 | △1.8 | 7.0 | △1.5 | 18.2 |
| 参考指数の騰落率 | (%) | — | 14.6 | △0.2 | 7.0 | △0.4 | 18.7 |
| 純資産総額 | (百万円) | 25,298 | 24,305 | 21,017 | 20,156 | 18,007 | 18,446 |

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております。

■ 世界8資産ファンド 成長コース

■ 基準価額等の推移



第31期首：13,365円
 第31期末：14,430円
 (既払分配金105円)
 騰落率：8.8%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、海外リートや海外株式市場が上昇したことなどが影響し、基準価額は上昇しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

| 組入ファンド | 騰落率 |
|-----------------|-------|
| 国内債券マザーファンド | 0.3% |
| 海外債券マザーファンド | 3.5% |
| エマージング債券マザーファンド | 5.3% |
| 国内株式マザーファンド | 10.8% |
| 海外株式マザーファンド | 16.6% |
| エマージング株式マザーファンド | 0.4% |
| 国内リートマザーファンド | 2.6% |
| 海外リートマザーファンド | 21.7% |

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第31期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------------------------|---------|--|
| | (2021年5月11日 ～2021年11月8日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 91円 | 0.658% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,780円です。 |
| (投信会社) | (45) | (0.329) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (42) | (0.302) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (4) | (0.027) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 5 | 0.039 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式) | (4) | (0.027) | |
| (先物・オプション) | (0) | (0.000) | |
| (投資信託受益証券) | (0) | (0.001) | |
| (投資証券) | (2) | (0.011) | |
| (c) 有価証券取引税 | 1 | 0.010 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (1) | (0.009) | |
| (投資信託受益証券) | (0) | (0.000) | |
| (投資証券) | (0) | (0.001) | |
| (d) その他費用 | 5 | 0.039 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (3) | (0.022) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (2) | (0.015) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 103 | 0.747 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

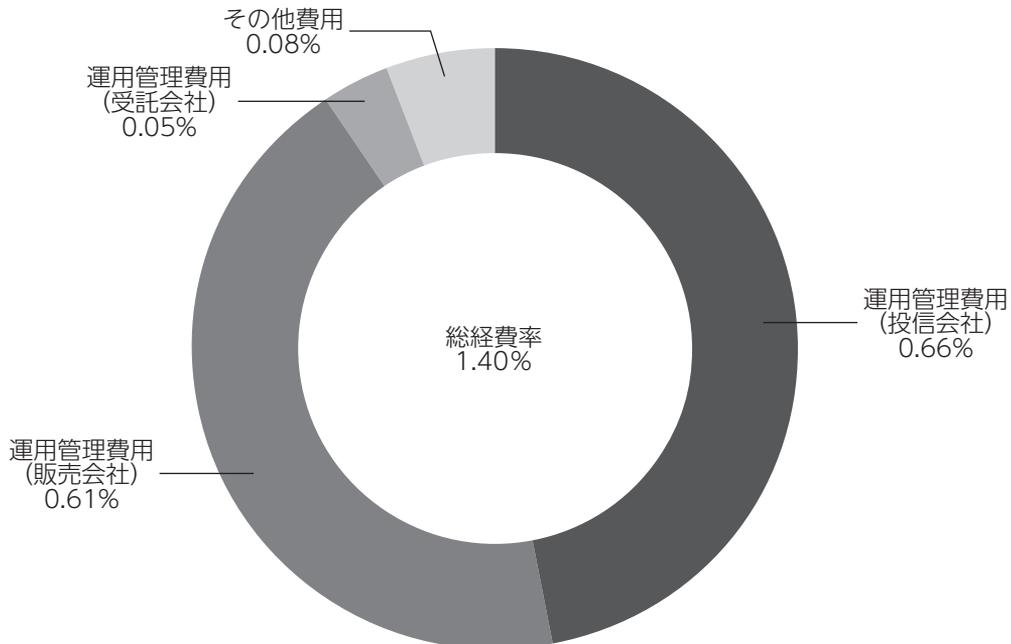
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



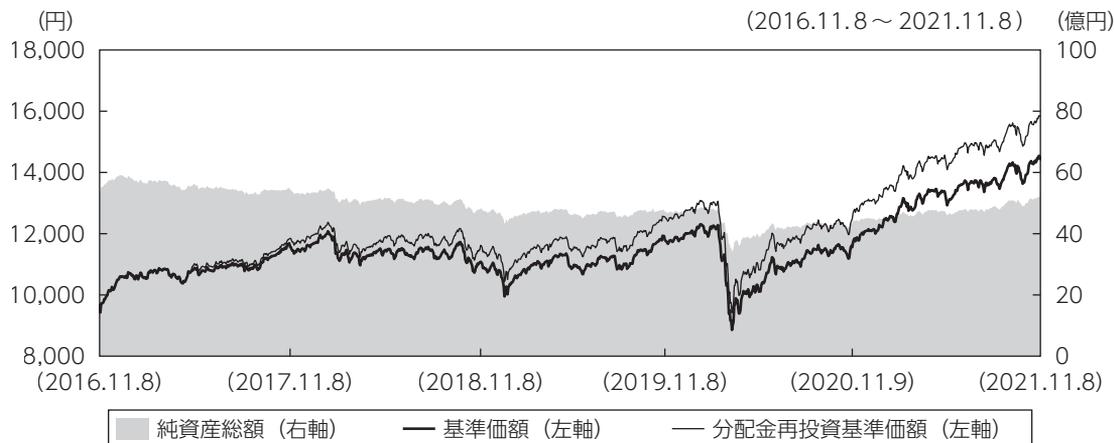
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2016年11月8日 期首 | 2017年11月8日 決算日 | 2018年11月8日 決算日 | 2019年11月8日 決算日 | 2020年11月9日 決算日 | 2021年11月8日 決算日 |
|----------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (分配落) | (円) 9,670 | 11,565 | 11,085 | 11,799 | 11,559 | 14,430 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) - | 270 | 260 | 165 | 180 | 220 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) - | 22.5 | △1.9 | 8.0 | △0.4 | 26.8 |
| 参考指数の騰落率 | (%) - | 25.2 | △0.8 | 8.5 | △0.4 | 27.3 |
| 純資産総額 | (百万円) 5,470 | 5,425 | 4,812 | 4,717 | 4,331 | 5,168 |

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております。

■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

■ 投資環境

● 国内債券市況

国内債券市場は、NOMUR A-BPI 総合で見ると、0.2%上昇しました。作成期首0.080%で始まった新発10年国債利回りは、国内外でデルタ変異株の感染が広がり、景気鈍化への警戒感が高まったことで、8月上旬にかけ低下したものの、その後は、先進国の景気の回復や物価の高止まりを背景に、米国を中心に金融緩和政策が縮小されるとの思惑が高まったことなどから上昇し、0.055%で作成期末を迎えました。

● 海外債券市況

米国10年国債利回りは、F R B（米連邦準備制度理事会）が量的緩和の縮小を急がないと示唆したことや、新型コロナウイルス変異株による感染拡大懸念から低下した後、9月にF R Bが資産購入額の縮小を示唆し、市場で利上げ観測が高まったことから上昇に転じ、前作成期末対比上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、変異株の感染拡大による景気動向への懸念から低下した後、E C B（欧州中央銀行）による金融緩和の縮小観測から上昇に転じ、前作成期末対比上昇しました。

● エマージング債券市況

米国の金融政策を睨んだ動きとなり、F R B（米連邦準備制度理事会）が物価上昇は一時的とし、早期の利上げに否定的な見解を示したため、作成期初よりエマージング債券市場は堅調に推移しました。その後は、インフレ懸念が継続する中で、F R Bが量的緩和縮小に踏み切るとの見方が広がったことや、中国不動産大手の債務懸念が嫌気されたことから、エマージング債券市場は軟調となりましたが、作成期末にかけては、米国長期金利が低下したことなどから、値を戻しました。

● 国内株式市況

作成期首から8月にかけては、米金融緩和政策の見直しへの警戒が相場の重荷となりました。その後は、新政権が打ち出す経済政策や国内の新型コロナウイルス新規感染者数の減少による経済正常化への期待などから上昇しました。

●海外株式市況

新型コロナウイルスのワクチン普及や財政政策に対する期待などに支えられて、株式市場は力強く上昇しました。2021年には新型コロナウイルス変異株の蔓延が度々発生したことや、中国の不動産大手の債務を巡る不透明感などで株価が下落する局面も見られましたが、ワクチンの接種が進んだことや堅調な企業業績に支えられて、株式市場は上昇基調を維持しました。

●エマージング株式市況

各国における経済活動の正常化が期待される一方、米国における物価上昇圧力の強まりや、コロナ変異株の感染拡大などを材料に、作成期初より市場は方向感に欠ける展開を続けました。その後は、中国当局がインターネットサービス企業などへの規制を発表したことや中国の大手不動産開発企業の債務問題及び同国経済の減速懸念が高まったことなどを材料に、2021年7月頃より作成期末にかけて市場は総じて下落基調となりました。

●国内リート市況

国内リート市場は作成期首から、国内長期金利の低下基調を背景に、相対的に高い配当利回りに着目した資金流入などを受けて上昇しました。8月から9月にかけて、国内長期金利の反転や断続的な公募増資の公表、中国不動産大手企業に端を発したクレジット市場悪化などが嫌気され下落しました。その後は、緊急事態宣言が解除され、経済活動活性化に向けた期待の高まりなどから反発し作成期末を迎えました。

●海外リート市況

新型コロナウイルスの変異株の感染拡大を受けもみ合う場面もあったものの、経済の正常化期待から堅調な動きとなりました。夏場以降は、欧米各国の金融緩和縮小に対する懸念から上値の重い展開となり、9月にはリスク回避の動きから調整する場面もあったものの、作成期末にかけて好業績の第3四半期の企業業績を好感し高値圏での推移となりました。

●為替市況

為替市場では、前作成期末対比で米ドルは対円で上昇、ユーロは下落しました。

米ドルは、F R B（米連邦準備制度理事会）による緩和的な金融政策の早期見直しに対する思惑から、作成期末にかけて円安ドル高が進みました。ユーロは、新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に下落基調で推移した後、作成期末にかけてE C B（欧州中央銀行）による金融政策の正常化に向けた思惑などから上昇する場面も見られたものの、作成期を通じては円高ユーロ安となりました。

ポートフォリオについて

●世界8資産ファンド 安定コース

期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマージング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマージング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

【マザーファンド別組入比率】

(単位：%)

| マザーファンド名 | 期首組入比率 | 期末組入比率 |
|-----------------|--------|--------|
| 国内債券マザーファンド | 37.7 | 37.9 |
| 海外債券マザーファンド | 14.5 | 14.6 |
| エマージング債券マザーファンド | 4.9 | 5.0 |
| 国内株式マザーファンド | 9.9 | 10.4 |
| 海外株式マザーファンド | 5.7 | 5.5 |
| エマージング株式マザーファンド | 5.1 | 4.7 |
| 国内リートマザーファンド | 10.0 | 10.0 |
| 海外リートマザーファンド | 10.9 | 10.5 |
| その他 | 1.2 | 1.5 |

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

●世界8資産ファンド 分配コース

作成期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマージング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマージング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、作成期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、作成期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

【マザーファンド別組入比率】

(単位：%)

| マザーファンド名 | 作成期首組入比率 | 作成期末組入比率 |
|-----------------|----------|----------|
| 国内債券マザーファンド | 18.5 | 18.4 |
| 海外債券マザーファンド | 29.1 | 29.8 |
| エマージング債券マザーファンド | 9.9 | 10.6 |
| 国内株式マザーファンド | 4.9 | 4.7 |
| 海外株式マザーファンド | 10.8 | 11.1 |
| エマージング株式マザーファンド | 5.0 | 4.9 |
| 国内リートマザーファンド | 5.1 | 4.7 |
| 海外リートマザーファンド | 15.7 | 14.8 |
| その他 | 1.1 | 1.0 |

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

●世界8資産ファンド 成長コース

期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマーシング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマーシング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

【マザーファンド別組入比率】

(単位：%)

| マザーファンド名 | 期首組入比率 | 期末組入比率 |
|-----------------|--------|--------|
| 国内債券マザーファンド | 4.2 | 4.0 |
| 海外債券マザーファンド | 4.3 | 4.2 |
| エマーシング債券マザーファンド | 9.8 | 9.4 |
| 国内株式マザーファンド | 34.6 | 35.7 |
| 海外株式マザーファンド | 15.4 | 16.0 |
| エマーシング株式マザーファンド | 10.0 | 9.2 |
| 国内リートマザーファンド | 10.1 | 9.1 |
| 海外リートマザーファンド | 10.4 | 10.9 |
| その他 | 1.1 | 1.4 |

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

●国内債券マザーファンド

金利戦略は金利上昇を見込み、修正デュレーション（金利感応度）をベンチマーク対比短期化とする戦略を継続しました。残存年限別構成戦略は、相対的に軟調に推移すると見込んだ超長期ゾーンをアンダーウェイトとする戦略を基本としました。種別構成戦略は、事業債のオーバーウェイトを維持しました。また、債券組入比率は高位を維持しました。

作成期末：2021年11月8日

| 作成期末 | | |
|-----------|-------|--------|
| | ファンド | ベンチマーク |
| 平均クーポン | 0.46% | 0.80% |
| 最終利回り | 0.10% | 0.12% |
| 残存年数 | 8.60年 | 9.92年 |
| 修正デュレーション | 8.07 | 9.37 |

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

●海外債券マザーファンド

ポートフォリオ全体の修正デュレーションは作成期を通じてベンチマーク対比長めとしました。国別金利リスク配分は米国等でベンチマーク対比長めとした一方、ユーロ圏は短めとしました。債券残存期間構成は期中に米国で超長期ゾーンをオーバーウェイトとしました。通貨別配分はメキシコペソやポーランドズロチのオーバーウェイトを中心に、機動的にポジションを運営しました。債券組入比率は高位を維持しました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

作成期末：2021年11月8日

| 作成期末 | | |
|-----------|--------|--------|
| | ファンド | ベンチマーク |
| 平均クーポン | 0.02% | 0.02% |
| 最終利回り | 1.06% | 0.71% |
| 平均残存期間 | 11.26年 | 9.72年 |
| 修正デュレーション | 9.17 | 8.09 |

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

●エマージング債券マザーファンド

世界のエマージング諸国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指しました。

国別配分は、コロンビア、ロシアの組入比率を引き上げた一方、パナマ、ブラジル、中国を引き下げました。

作成期末：2021年11月8日

| 作成期末 | |
|-----------|-------|
| | ファンド |
| 平均クーポン | 4.5% |
| 最終利回り | 4.5% |
| 平均残存期間 | 14.2年 |
| 修正デュレーション | 9.6 |

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

●国内株式マザーファンド

中長期的に企業価値が高まっていくと期待される企業群で、かつバリュエーション面でも魅力が高いと考えられる企業に対し選別投資をしていくことでベンチマーク対比での超過収益獲得に努めました。主な購入銘柄は、「トヨタ自動車」、「キーエンス」、「トヨタ紡織」などです。一方で、当面の業績動向が相対的に見劣りすると予想される銘柄などを売却しました。主な売却銘柄は、「本田技研工業」、「武田薬品工業」、「村田製作所」などです。

作成期末：2021年11月8日

【組入上位10業種】

(単位：%)

| 作成期末 | | |
|------|--------|------|
| 順位 | 業種 | 比率 |
| 1 | 電気機器 | 14.8 |
| 2 | 情報・通信業 | 13.6 |
| 3 | サービス業 | 8.9 |
| 4 | 輸送用機器 | 8.8 |
| 5 | 化学 | 7.0 |
| 6 | 銀行業 | 6.1 |
| 7 | 卸売業 | 5.5 |
| 8 | 精密機器 | 5.0 |
| 9 | 機械 | 4.0 |
| 10 | 陸運業 | 3.5 |

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は東証33業種分類です。

●海外株式マザーファンド

日本を除く世界の先進国の株式市場を主たる投資対象とし、各国のファンダメンタルズ分析に基づく国別投資魅力度の分析ならびに個別企業の投資価値判断を行い、中・長期的に投資魅力が高いと判断される銘柄に投資しました。

各国の景気や金融政策、企業業績や政治リスクの動向等を見極めつつ、銘柄入替や保有比率調整を実施しました。セクター別では、情報技術や資本財サービスセクターの比率を高めに維持しました。

作成期末：2021年11月8日

【業種別上位10業種】

(単位：%)

| 作成期末 | | |
|------|------------------------|------|
| 順位 | 業種 | 比率 |
| 1 | ソフトウェア・サービス | 15.2 |
| 2 | メディア・娯楽 | 9.2 |
| 3 | 各種金融 | 7.7 |
| 4 | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 7.1 |
| 5 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 7.1 |
| 6 | 資本財 | 7.1 |
| 7 | ヘルスケア機器・サービス | 6.7 |
| 8 | 小売 | 4.8 |
| 9 | 食品・飲料・タバコ | 4.8 |
| 10 | 銀行 | 4.8 |

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は世界産業分類基準です。

●エマージング株式マザーファンド

国別配分ではロシアなどの組入れを引き上げた一方、韓国などの組入れを引き下げました。業種配分では銀行などの組入れを引き上げた一方、テクノロジー・ハードウェア及び機器などの組入れを引き下げました。株式の組入比率は高位を維持しました。組入外貨建資産に対して為替ヘッジは行いませんでした。

作成期末：2021年11月8日

【国（市場）別上位】

(単位：%)

| 作成期末 | | |
|------|--------|------|
| 順位 | 国・地域名 | 比率 |
| 1 | ケイマン諸島 | 14.5 |
| 2 | 台湾 | 13.6 |
| 3 | 中国 | 12.5 |
| 4 | インド | 12.4 |
| 5 | 韓国 | 10.5 |
| 6 | ロシア | 6.0 |
| 7 | ブラジル | 3.6 |
| 8 | 南アフリカ | 3.4 |
| 9 | タイ | 2.4 |
| 10 | チリ | 1.8 |

【業種別上位10業種】

(単位：%)

| 作成期末 | | |
|------|--------------------|------|
| 順位 | 業種 | 比率 |
| 1 | 銀行 | 17.9 |
| 2 | 半導体・半導体製造装置 | 8.9 |
| 3 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 8.1 |
| 4 | 小売 | 7.9 |
| 5 | 素材 | 6.7 |
| 6 | 不動産 | 6.3 |
| 7 | ソフトウェア・サービス | 4.9 |
| 8 | 資本財 | 4.7 |
| 9 | メディア・娯楽 | 4.6 |
| 10 | 耐久消費財・アパレル | 4.0 |

【組入上位10銘柄】

(単位：%)

| 作成期末 | | | | |
|------|---------------------------|--------|--------------------|-----|
| 順位 | 銘柄 | 国・地域名 | 業種 | 比率 |
| 1 | TAIWAN SEMICONDUCTOR | 台湾 | 半導体・半導体製造装置 | 7.4 |
| 2 | SAMSUNG ELECTRONICS-PFD | 韓国 | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 3.5 |
| 3 | ALIBABA GROUP HOLDING LTD | ケイマン諸島 | 小売 | 2.9 |
| 4 | ICICI BANK LTD ADR | インド | 銀行 | 2.5 |
| 5 | TENCENT HOLDINGS LTD | ケイマン諸島 | メディア・娯楽 | 2.2 |
| 6 | CHINA CONSTRUCTION BANK | 中国 | 銀行 | 1.7 |
| 7 | INFOSYS LTD | インド | ソフトウェア・サービス | 1.6 |
| 8 | MIDEA GROUP CO LTD | 中国 | 耐久消費財・アパレル | 1.6 |
| 9 | BAIDU INC | ケイマン諸島 | メディア・娯楽 | 1.5 |
| 10 | RELIANCE INDUSTRIES LTD | インド | エネルギー | 1.3 |

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は世界産業分類基準です。

●国内リートマザーファンド

前回の運用報告書に記載した「今後の運用方針」に従い、分配金の維持向上が見込める銘柄などの投資ウェイトを引き上げる運用を行いました。具体的には投資口価格の相対的な割安感を評価し「投資法人みらい」などを新規購入しました。一方で、相対的に分配金の伸び悩みなどが懸念される「ジャパンエクセレント投資法人」などの一部売却を行いました。組入比率は高位を維持しました。

作成期末：2021年11月8日

【組入上位10銘柄】

(単位：%)

| 作成期末 | | |
|------|-------------------|-----|
| 順位 | 銘柄 | 比率 |
| 1 | 日本ビルファンド投資法人 | 7.8 |
| 2 | GLP投資法人 | 5.8 |
| 3 | 野村不動産マスターファンド投資法人 | 5.7 |
| 4 | ジャパンリアルエステイト投資法人 | 5.6 |
| 5 | 日本都市ファンド投資法人 | 5.5 |
| 6 | 日本プロロジスリート投資法人 | 4.7 |
| 7 | ユナイテッド・アーバン投資法人 | 3.5 |
| 8 | 大和ハウスリート投資法人 | 3.3 |
| 9 | オリックス不動産投資法人 | 3.2 |
| 10 | 積水ハウス・リート投資法人 | 3.1 |

(注) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●海外リートマザーファンド

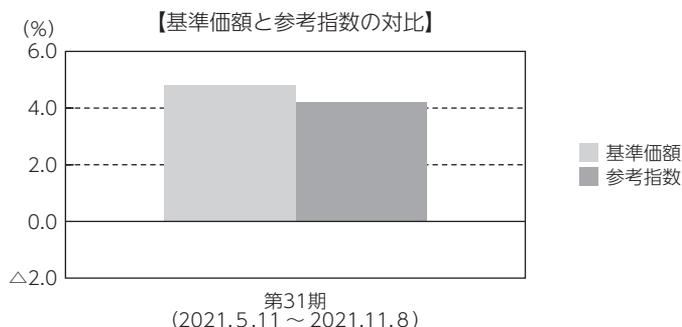
北米では、物流施設を運営する工業銘柄や小売施設銘柄など、欧州では、英国のトランクルームを運営するその他特定用途銘柄、アジア・オセアニア地域では豪州や香港の小売施設銘柄などを選別して投資しました。

リート組入比率は高位を維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。

■ 世界8資産ファンド 安定コース

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、利子・配当等収益等の水準、基準価額的水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|---------------------------|
| | 2021年5月11日 ～2021年11月8日 |
| 当期分配金（税引前） | 65円 |
| 対基準価額比率 | 0.49% |
| 当期の収益 | 65円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 3,116円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

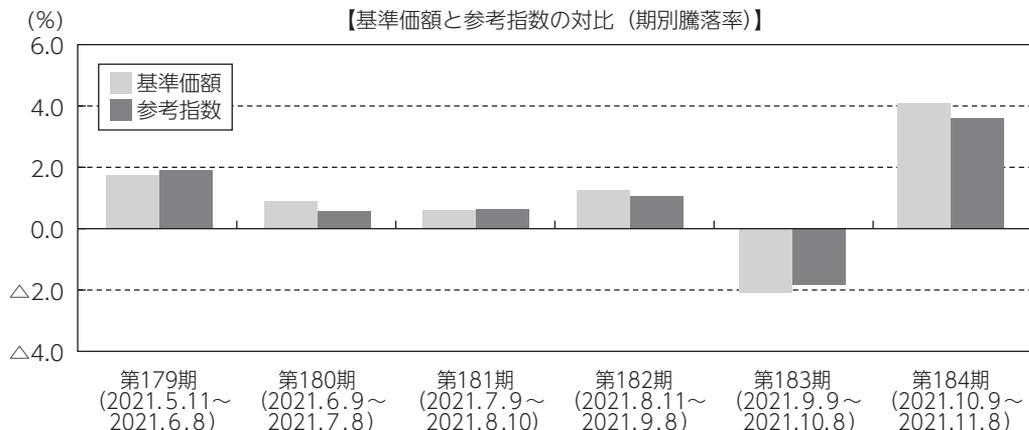
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■世界8資産ファンド 分配コース

■ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■分配金

当作成期の収益分配金は、安定した分配を継続的に行うことを目指し、利子・配当等収益等の水準、基準価額的水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 第179期 | 第180期 | 第181期 | 第182期 | 第183期 | 第184期 |
|------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
| | 2021年5月11日 ~2021年6月8日 | 2021年6月9日 ~2021年7月8日 | 2021年7月9日 ~2021年8月10日 | 2021年8月11日 ~2021年9月8日 | 2021年9月9日 ~2021年10月8日 | 2021年10月9日 ~2021年11月8日 |
| 当期分配金（税引前） | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 |
| 対基準価額比率 | 0.15% | 0.15% | 0.14% | 0.14% | 0.15% | 0.14% |
| 当期の収益 | 15円 | 15円 | 15円 | 15円 | 13円 | 15円 |
| 当期の収益以外 | -円 | -円 | -円 | -円 | 1円 | -円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 752円 | 830円 | 878円 | 992円 | 991円 | 1,162円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

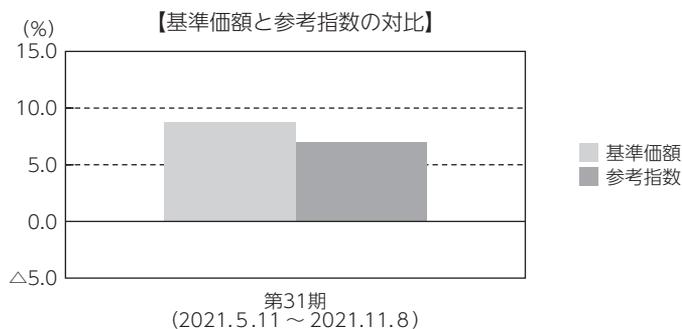
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

■ 世界8資産ファンド 成長コース

■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金は、利子・配当等収益等の水準、基準価額的水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|---------------------------|
| | 2021年5月11日 ～2021年11月8日 |
| 当期分配金（税引前） | 105円 |
| 対基準価額比率 | 0.72% |
| 当期の収益 | 105円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,994円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●世界8資産ファンド 安定コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の安定的な成長を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、信託財産の純資産総額に対する基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

●世界8資産ファンド 分配コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、信託財産の純資産総額に対する基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

●世界8資産ファンド 成長コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、信託財産の純資産総額に対する基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

●国内債券マザーファンド

日銀による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の効果が継続することで、金利は低位で推移すると見込みます。金利戦略は、修正デュレーションを機動的に操作し、残存期間別構成戦略は、利回り曲線上で割安と判断する年限を厚めに保有します。種別構成・個別銘柄戦略は、信用力が安定的で、且つ利回り面で妙味があると判断される銘柄の組み入れを検討する方針です。

●海外債券マザーファンド

先進国各国ではインフレ高進を背景とした利上げ観測が高まっており、財政面では新型コロナウイルス感染拡大を受けた各種支援措置が終了しつつありますが、金融・財政の政策支援が希薄化する中でのインフレ高止まりにより、今後は世界的な景気減速を予想します。こうした中、今後は市場で過度に織り込まれたインフレ期待が徐々に剥落すると見込むことから、先進国金利は低下に向かうと考えます。債券組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わない方針です。

●エマージング債券マザーファンド

先進国は新型コロナウイルスワクチンの普及や活動制限の緩和に加え、財政刺激や金融政策に支えられ、世界経済の回復を牽引しています。世界経済の回復は、商品価格の上昇や世界貿易の拡大を通じて新興国経済の回復を支えています。新興国経済の回復につれ、新興国のファンダメンタルズが徐々に改善していくと見ていますが、依然として脆弱性は残るため、国の選別が重要と認識しており、リスクを追加する機会を選別的に探っていく方針です。

●国内株式マザーファンド

今後の国内株式市場は、米金融緩和政策に対する見直し議論の高まりには留意が必要と考えますが、新型コロナウイルスのワクチン普及による経済正常化への期待に支えられ、高値圏での推移が続くと予想します。今後の運用方針は、中長期的に企業価値が高まっていくと期待される企業群で、かつバリュエーション面でも魅力が高いと考えられる企業に選別投資していく方針です。

●海外株式マザーファンド

海外株式市場は、値動きの荒い相場展開が予想される中、銘柄選択の重要性がより高まると考えます。従いまして、中長期的に財務面や業績面などの企業ファンダメンタルズが良好ながらも、短期的な企業業績の先行き不透明感などで売り込まれて割安感が強まった銘柄を中心に、新規購入や買い増しの機会を探りたいと考えます。株式組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わない方針です。

●エマージング株式マザーファンド

持続可能な利益成長や配当支払いなどによる株主還元の観点から投資妙味が高いと判断される優良銘柄に投資する方針です。国別では、ベンチマーク対比でロシアなどの組入比率を高め、中国などの組入比率を低めにする方針です。業種別では、ベンチマーク対比で銀行などの組入比率を高め、メディア・娯楽などの組入比率を低めにする方針です。

●国内リートマザーファンド

国内リート市場は、短期的には、内外の長期金利動向や利益確定の売りが上値を抑える可能性があり、もみ合う展開を想定します。低金利政策の継続や経済対策、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展など前向きな動きに加え、堅調なJ-R-E-I-T各投資法人の業績が支えとなり、下値は堅いと想定します。銘柄選択、ポートフォリオ構築に際し、保有資産の質や運用能力の調査・分析結果をベースに、安定した分配金原資の獲得を考慮して実施していきます。

●海外リートマザーファンド

ワクチンの普及によって経済の再開が徐々に進み、リートの業績改善が進むとみています。米国では、工業や小売施設、ホテル・レジャー、通信タワーやトランクルームを運営するその他特定用途銘柄への投資妙味が相対的に高いと判断します。欧州では、英国のトランクルームを運営するその他特定用途、工業、住宅銘柄などに注目します。アジア・オセアニア地域については、香港の生活必需品の小売施設銘柄や豪州の住宅銘柄などを慎重に選別して投資します。

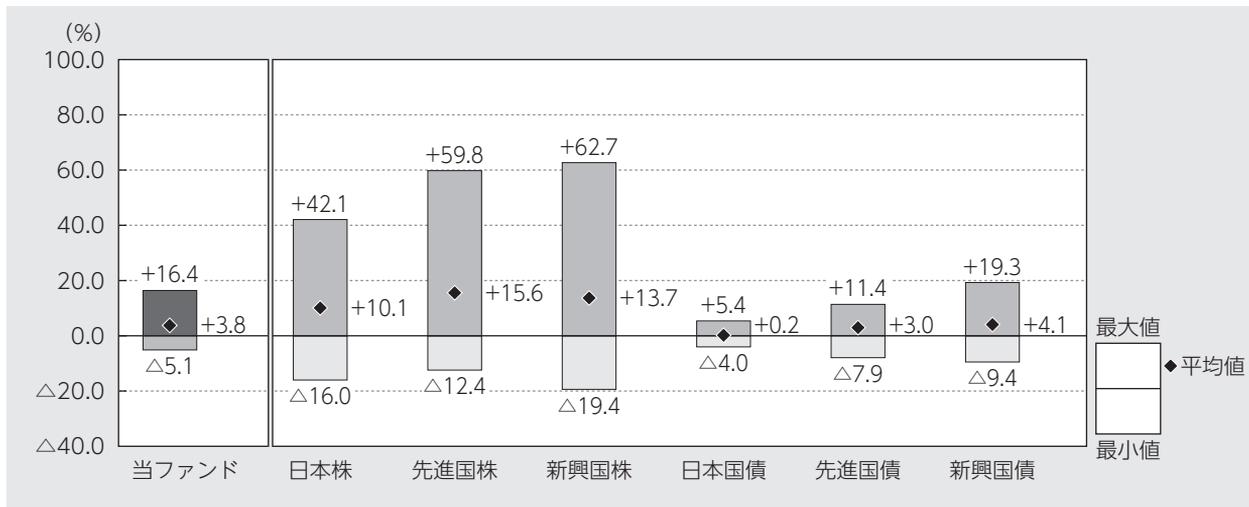
当ファンドの概要

■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 | |
| 信託期間 | 2006年7月7日から無期限です。 | |
| 運用方針 | <p><安定コース> 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、信託財産の安定的な成長を目指します。</p> <p><分配コース> 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。</p> <p><成長コース> 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。</p> | |
| 主要投資対象 | 世界8資産ファンド | 「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」、「海外リートマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 国内債券マザーファンド | わが国の公社債を主要投資対象とします。 |
| | 海外債券マザーファンド | 日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象とします。 |
| | エマージング債券マザーファンド | 世界のエマージング諸国の公社債を主要投資対象とします。 |
| | 国内株式マザーファンド | わが国の株式を主要投資対象とします。 |
| | 海外株式マザーファンド | 日本を除く世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。 |
| | エマージング株式マザーファンド | 世界のエマージング諸国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| | 国内リートマザーファンド | わが国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| | 海外リートマザーファンド | 日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リートに分散投資を行い、安定的な投資成果を目指します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 エマージング債券マザーファンドの運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに、エマージング株式マザーファンドの運用指図に関する権限をウェルズ・キャピタル・マネジメント・インコーポレイテッドに委託します。 | |
| 分配方針 | <p><安定コース> 毎年原則として5月8日および11月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等の全額を分配対象として、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p><分配コース> 年12回（原則毎月8日）決算を行い、第3期以降、原則として安定した分配を継続的に行うことを目指し、利子・配当等収益等の水準、基準価額の水準および市場動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p><成長コース> 毎年原則として5月8日および11月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等の全額を分配対象として、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p>収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p> | |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

■ 世界8資産ファンド 安定コース



2016年11月～2021年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

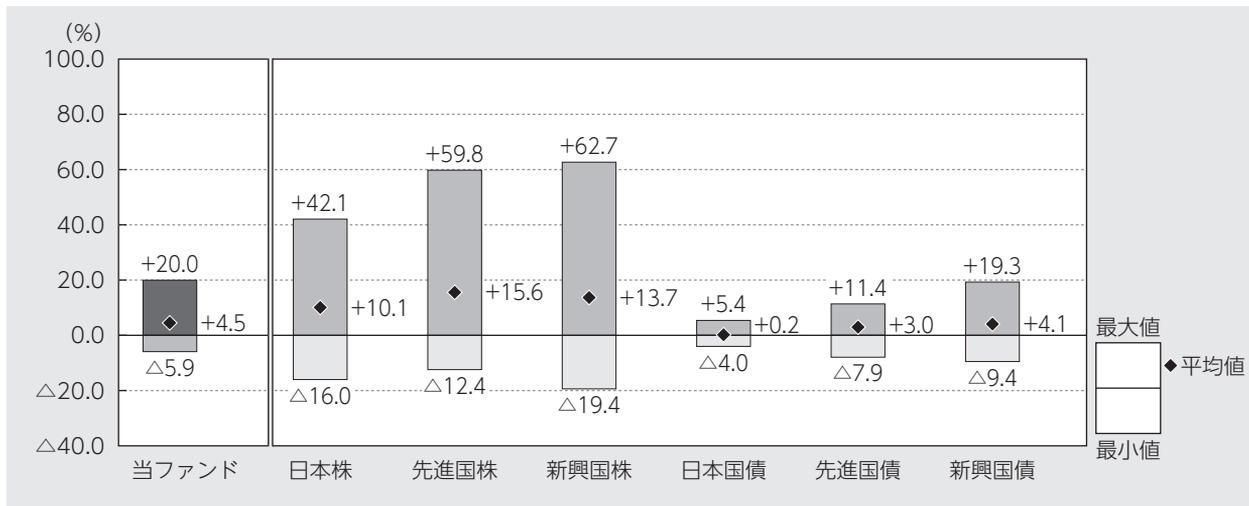
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

■ 世界8資産ファンド 分配コース



2016年11月～2021年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

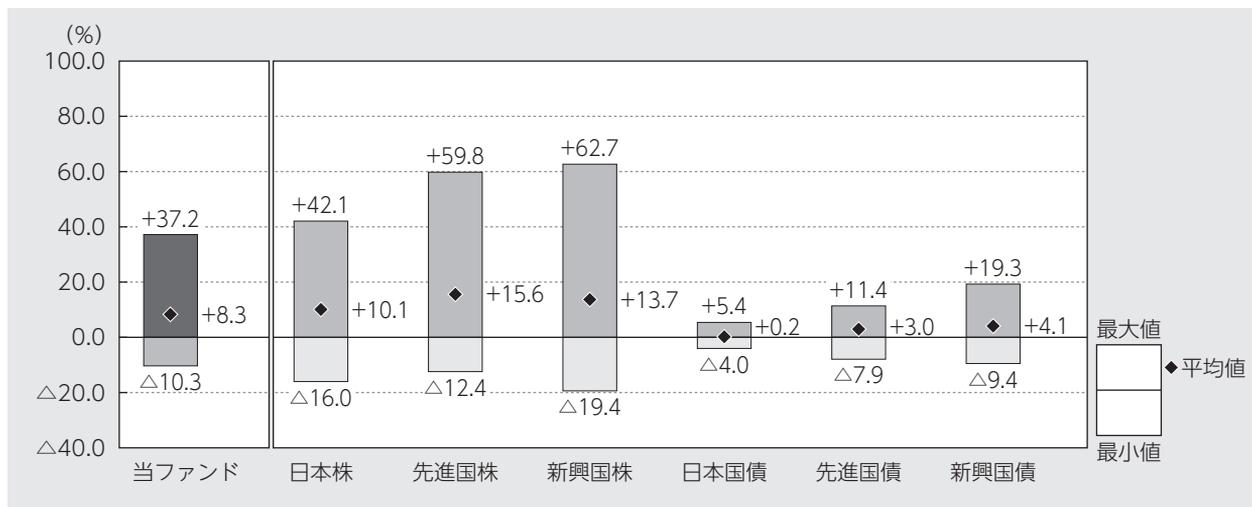
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

■ 世界8資産ファンド 成長コース



2016年11月～2021年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

*各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

世界8資産ファンド 安定コース

当ファンドの組入資産の内容 (2021年11月8日現在)

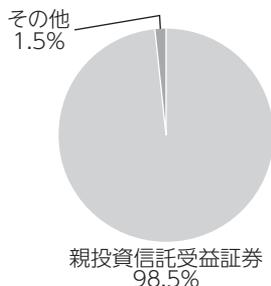
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8ファンド)

| | 当期末 |
|-----------------|------------|
| | 2021年11月8日 |
| 国内債券マザーファンド | 37.9% |
| 海外債券マザーファンド | 14.6 |
| エマージング債券マザーファンド | 5.0 |
| 国内株式マザーファンド | 10.4 |
| 海外株式マザーファンド | 5.5 |
| エマージング株式マザーファンド | 4.7 |
| 国内リートマザーファンド | 10.0 |
| 海外リートマザーファンド | 10.5 |
| その他 | 1.5 |

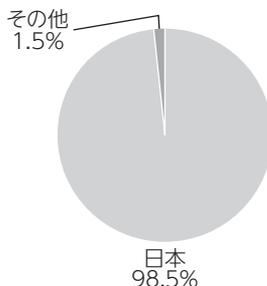
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

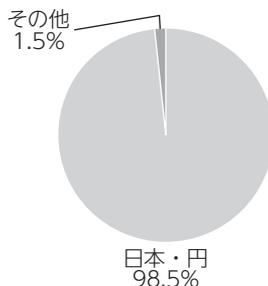
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2021年11月8日 |
| 純資産総額 | 3,327,146,336円 |
| 受益権総口数 | 2,536,544,188口 |
| 1万口当たり基準価額 | 13,117円 |

(注) 当期中における追加設定元本額は81,781,243円、同解約元本額は111,667,330円です。

■ 世界8資産ファンド 分配コース

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2021年11月8日現在)

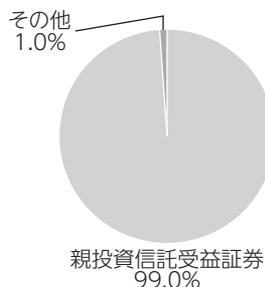
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8ファンド)

| | 第184期末 |
|-----------------|------------|
| | 2021年11月8日 |
| 国内債券マザーファンド | 18.4% |
| 海外債券マザーファンド | 29.8 |
| エマージング債券マザーファンド | 10.6 |
| 国内株式マザーファンド | 4.7 |
| 海外株式マザーファンド | 11.1 |
| エマージング株式マザーファンド | 4.9 |
| 国内リートマザーファンド | 4.7 |
| 海外リートマザーファンド | 14.8 |
| その他 | 1.0 |

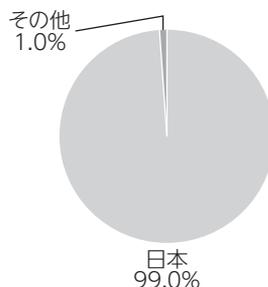
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

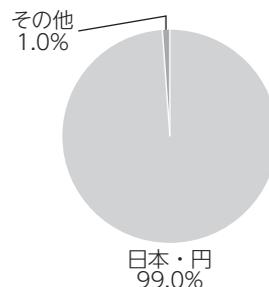
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■ 純資産等

| 項目 | 第179期末 | 第180期末 | 第181期末 | 第182期末 | 第183期末 | 第184期末 |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | 2021年6月8日 | 2021年7月8日 | 2021年8月10日 | 2021年9月8日 | 2021年10月8日 | 2021年11月8日 |
| 純資産総額 | 18,944,508,488円 | 18,944,899,585円 | 18,901,088,016円 | 19,016,520,998円 | 18,506,721,971円 | 18,446,947,122円 |
| 受益権総口数 | 18,480,488,656口 | 18,341,353,629口 | 18,214,533,218口 | 18,126,134,667口 | 18,044,641,225口 | 17,304,000,659口 |
| 1万口当たり基準価額 | 10,251円 | 10,329円 | 10,377円 | 10,491円 | 10,256円 | 10,661円 |

(注) 当作成期間 (第179期～第184期) 中における追加設定元本額は104,466,725円、同解約元本額は1,432,763,761円です。

■ 世界8資産ファンド 成長コース

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2021年11月8日現在)

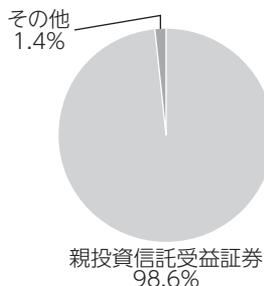
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8ファンド)

| | 当期末 |
|-----------------|------------|
| | 2021年11月8日 |
| 国内債券マザーファンド | 4.0% |
| 海外債券マザーファンド | 4.2 |
| エマージング債券マザーファンド | 9.4 |
| 国内株式マザーファンド | 35.7 |
| 海外株式マザーファンド | 16.0 |
| エマージング株式マザーファンド | 9.2 |
| 国内リートマザーファンド | 9.1 |
| 海外リートマザーファンド | 10.9 |
| その他 | 1.4 |

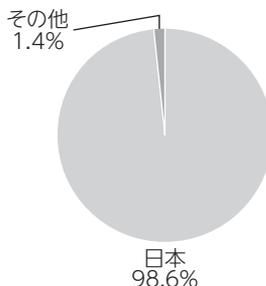
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

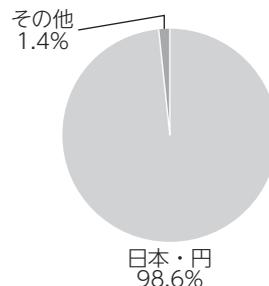
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■ 純資産等

| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2021年11月8日 |
| 純資産総額 | 5,168,684,419円 |
| 受益権総口数 | 3,581,820,839口 |
| 1万口当たり基準価額 | 14,430円 |

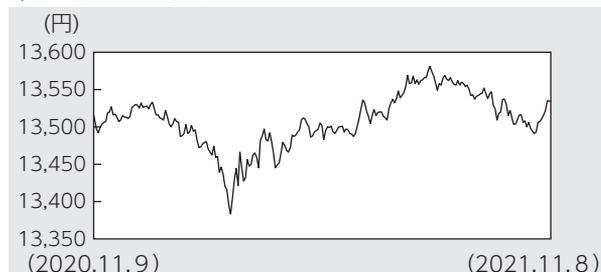
(注) 当期中における追加設定元本額は198,338,968円、同解約元本額は157,629,206円です。

■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

■ 組入ファンドの概要

[国内債券マザーファンド] (計算期間 2020年11月10日～2021年11月8日)

◆ 基準価額の推移



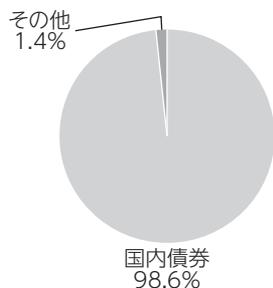
◆ 組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------|------|-------|
| 143回 利付国庫債券 (5年) | 日本・円 | 10.9% |
| 410回 利付国庫債券 (2年) | 日本・円 | 7.1 |
| 363回 利付国庫債券 (10年) | 日本・円 | 6.8 |
| 136回 利付国庫債券 (5年) | 日本・円 | 4.7 |
| 146回 利付国庫債券 (5年) | 日本・円 | 4.6 |
| 362回 利付国庫債券 (10年) | 日本・円 | 4.4 |
| 153回 利付国庫債券 (20年) | 日本・円 | 3.7 |
| 144回 利付国庫債券 (5年) | 日本・円 | 3.6 |
| 168回 利付国庫債券 (20年) | 日本・円 | 2.9 |
| 130回 利付国庫債券 (5年) | 日本・円 | 2.6 |
| 組入銘柄数 | 54銘柄 | |

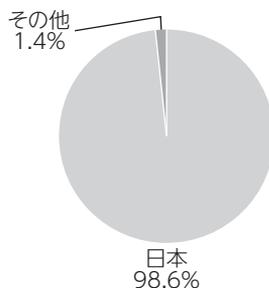
◆ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

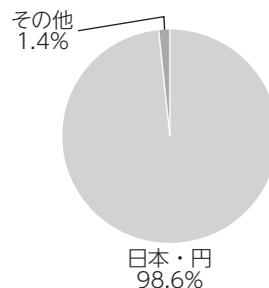
◆ 資産別配分



◆ 国別配分



◆ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

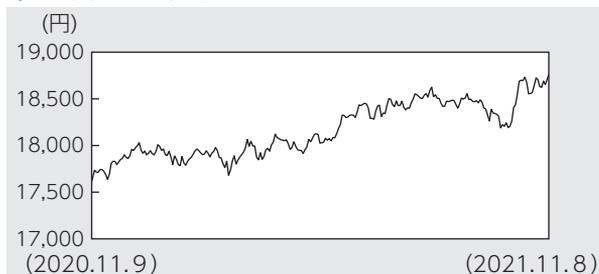
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

[海外債券マザーファンド] (計算期間 2020年11月10日～2021年11月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

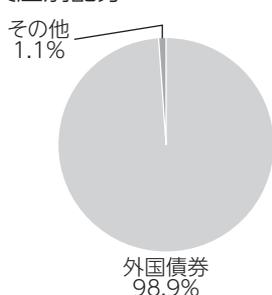
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|--------------------------|---------|-------|
| US T N/B 0.125 12/31/22 | アメリカ・ドル | 10.3% |
| ITALY BTPS 1.25 12/01/26 | ユーロ | 7.5 |
| US T N/B 2.25 08/15/49 | アメリカ・ドル | 7.3 |
| US T N/B 1.5 08/15/26 | アメリカ・ドル | 4.4 |
| US T N/B 0.625 08/15/30 | アメリカ・ドル | 4.3 |
| US T N/B 4.5 02/15/36 | アメリカ・ドル | 4.1 |
| US T N/B 2.0 08/15/51 | アメリカ・ドル | 4.0 |
| US T N/B 2.25 11/15/27 | アメリカ・ドル | 3.9 |
| US T N/B 2.25 11/15/25 | アメリカ・ドル | 3.4 |
| FRANCE OAT 1.0 11/25/25 | ユーロ | 3.2 |
| 組入銘柄数 | 39銘柄 | |

◆1万口当たりの費用明細

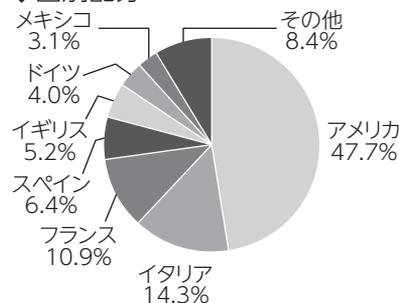
| 項目 | 当期 | |
|------------------------------|------------------|------------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) その他費用 (保管費用) (その他) | 3円 (3) (0) | 0.017% (0.017) (0.000) |
| 合計 | 3 | 0.017 |

期中の平均基準価額は18,165円です。

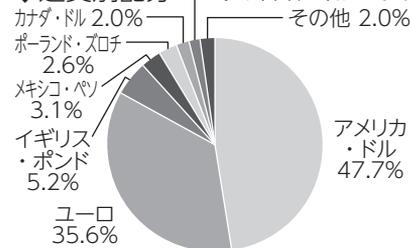
◆資産別配分



◆国別配分



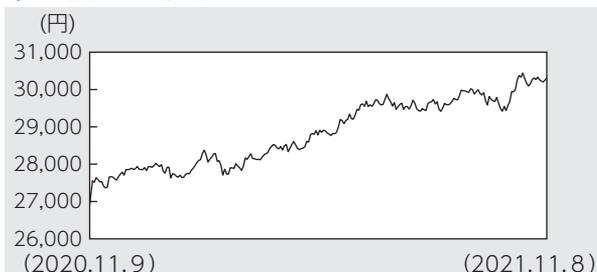
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 国別配分、通貨別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[エマージング債券マザーファンド] (計算期間 2020年11月10日～2021年11月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|--------------------------------------|---------|-------|
| US T N/B 2.375 05/15/51 | アメリカ・ドル | 3.8% |
| US T N/B 1.875 02/15/51 | アメリカ・ドル | 2.9 |
| KINGDOM OF JORDAN 6.125 01/29/26 | アメリカ・ドル | 2.6 |
| RUSSIAN FEDERATION 4.75 05/27/26 | アメリカ・ドル | 2.5 |
| DOMINICAN REPUBLIC 4.875 09/23/32 | アメリカ・ドル | 1.8 |
| US T N/B 1.875 02/15/41 | アメリカ・ドル | 1.8 |
| RUSSIAN FEDERATION 5.1 03/28/35 | アメリカ・ドル | 1.8 |
| SOUTHERN GAS CORRIDOR 6.875 03/24/26 | アメリカ・ドル | 1.7 |
| RUSSIAN FEDERATION 4.25 06/23/27 | アメリカ・ドル | 1.7 |
| REPUBLIC OF GABON 6.625 02/06/31 | アメリカ・ドル | 1.6 |
| 組入銘柄数 | | 142銘柄 |

◆1万口当たりの費用明細

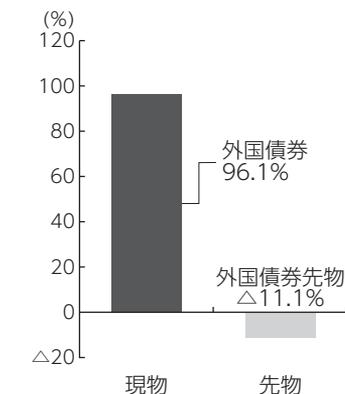
| 項目 | 当期 | |
|------------------------------|--------------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (先物・オプション) | 0円 (0) | 0.001% (0.001) |
| (b) その他費用 (保管費用) (その他) | 22 (22) (0) | 0.076 (0.076) (0.000) |
| 合計 | 22 | 0.077 |

期中の平均基準価額は28,833円です。

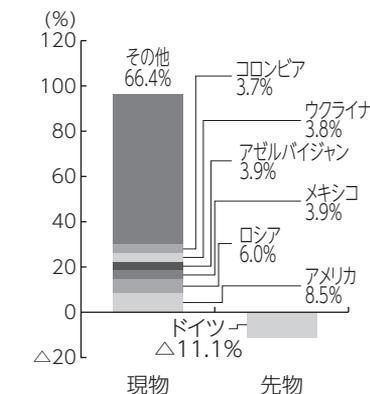
◆組入上位銘柄 (先物)

| 銘柄名 | 売買 | 比率 |
|-------------------|----|------|
| EURO-BUND FUTURE | 売建 | 8.1% |
| EURO BUXL 30Y BND | 売建 | 1.8 |
| EURO-BOBL FUTURE | 売建 | 1.2 |
| 組入銘柄数 | | 3銘柄 |

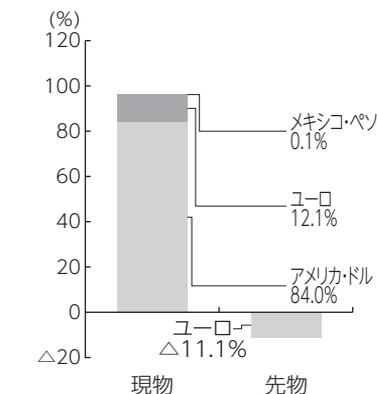
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

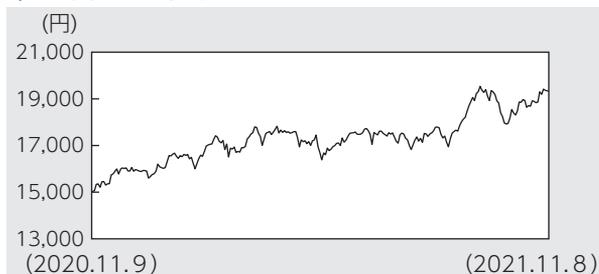
(注6) 国別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分の先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【国内株式マザーファンド】（計算期間 2020年11月10日～2021年11月8日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

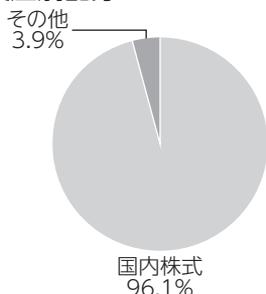
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------|------|------|
| ソニーグループ | 日本・円 | 4.2% |
| トヨタ自動車 | 日本・円 | 4.0 |
| 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 日本・円 | 3.1 |
| キーエンス | 日本・円 | 2.6 |
| 信越化学工業 | 日本・円 | 2.3 |
| HOYA | 日本・円 | 2.3 |
| 三井物産 | 日本・円 | 2.2 |
| デンソー | 日本・円 | 2.0 |
| ダイキン工業 | 日本・円 | 1.9 |
| Sansan | 日本・円 | 1.7 |
| 組入銘柄数 | 81銘柄 | |

◆1万口当たりの費用明細

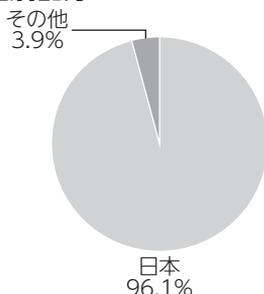
| 項目 | 当期 | |
|---------------------|-----------|-------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 9円 (9) | 0.052% (0.052) |
| 合計 | 9 | 0.052 |

期中の平均基準価額は17,276円です。

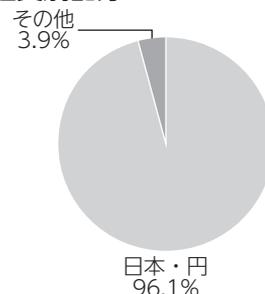
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

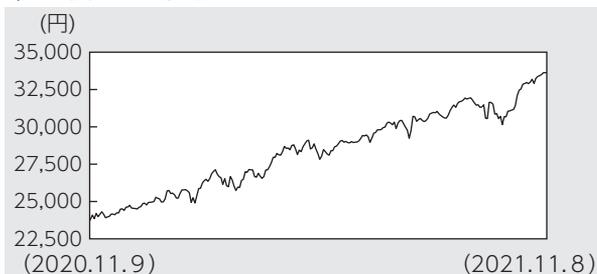
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外株式マザーファンド] (計算期間 2020年11月10日～2021年11月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

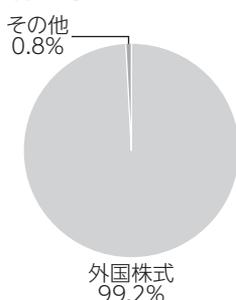
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------------------|---------|------|
| ALPHABET INC-CL A | アメリカ・ドル | 4.6% |
| APPLE INC | アメリカ・ドル | 4.4% |
| MICROSOFT CORP | アメリカ・ドル | 4.1% |
| AMAZON.COM INC | アメリカ・ドル | 3.8% |
| OKTA INC | アメリカ・ドル | 2.2% |
| FRESHPET INC | アメリカ・ドル | 2.1% |
| META PLATFORMS INC | アメリカ・ドル | 2.1% |
| SYNOPLYS INC | アメリカ・ドル | 2.0% |
| MORGAN STANLEY | アメリカ・ドル | 2.0% |
| EDWARDS LIFESCIENCES CORP NPR | アメリカ・ドル | 2.0% |
| 組入銘柄数 | | 92銘柄 |

◆1万口当たりの費用明細

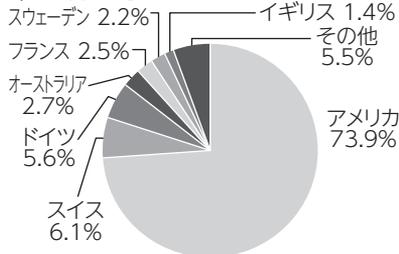
| 項目 | 当期 | |
|------------------------------|-------------------|-----------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 37円 (37) | 0.129% (0.129) |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 6 (6) | 0.020 (0.020) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 9 (8) (0) | 0.030 (0.030) (0.000) |
| 合計 | 51 | 0.179 |

期中の平均基準価額は28,369円です。

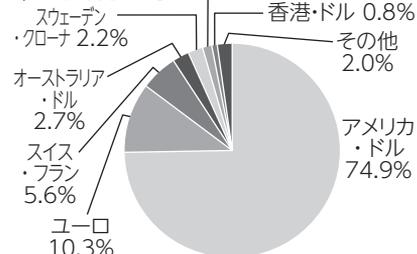
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

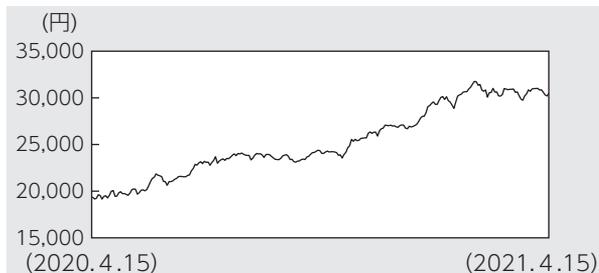
(注6) 国別配分、通貨別配分については、上位8位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[エマージング株式マザーファンド] (計算期間 2020年4月16日～2021年4月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

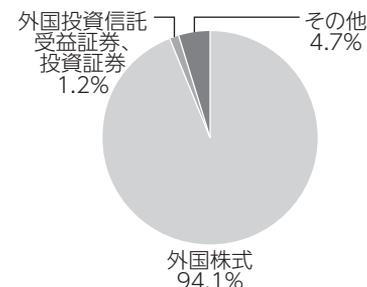
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------------------|-----------|-------|
| TAIWAN SEMICONDUCTOR | 台湾・ドル | 7.0% |
| ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR | アメリカ・ドル | 5.4 |
| SAMSUNG ELECTRONICS-PFD | 韓国・ウォン | 5.0 |
| TENCENT HOLDINGS LTD | 香港・ドル | 4.8 |
| SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD | 韓国・ウォン | 2.4 |
| CHINA CONSTRUCTION BANK | 香港・ドル | 2.2 |
| HON HAI PRECISION INDUSTRY | 台湾・ドル | 1.6 |
| MIDEA GROUP CO LTD | オフショア・人民元 | 1.6 |
| INFOSYS LTD | インド・ルピー | 1.5 |
| ICICI BANK LTD ADR | アメリカ・ドル | 1.5 |
| 組入銘柄数 | | 103銘柄 |

◆1万口当たりの費用明細

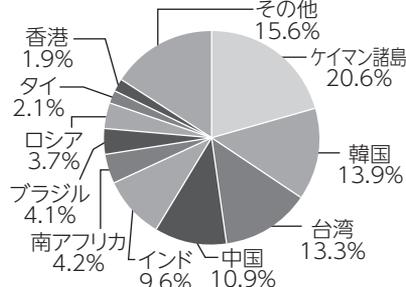
| 項目 | 当期 | |
|-------------|-------|---------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 | 79円 | 0.311% |
| (株式) | (78) | (0.308) |
| (投資信託受益証券) | (0) | (0.001) |
| (投資証券) | (1) | (0.002) |
| (b) 有価証券取引税 | 59 | 0.233 |
| (株式) | (59) | (0.232) |
| (投資信託受益証券) | (0) | (0.000) |
| (投資証券) | (0) | (0.002) |
| (c) その他費用 | 76 | 0.301 |
| (保管費用) | (61) | (0.243) |
| (その他) | (15) | (0.058) |
| 合計 | 214 | 0.845 |

期中の平均基準価額は25,301円です。

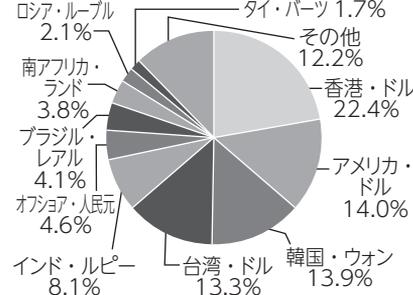
◆資産別配分



◆国別配分



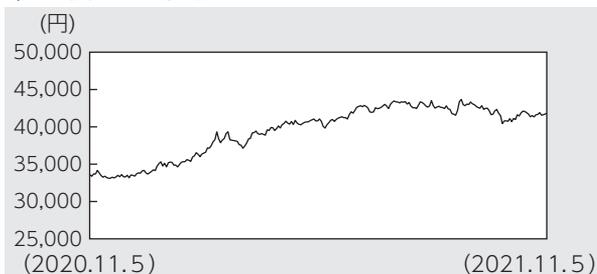
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 国別配分、通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【国内リートマザーファンド】（計算期間 2020年11月6日～2021年11月5日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

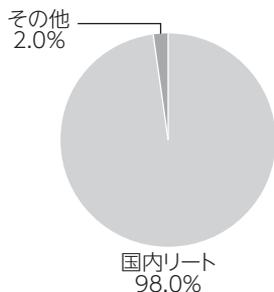
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|-------------------|------|------|
| 日本ビルファンド投資法人 | 日本・円 | 7.8% |
| GLP投資法人 | 日本・円 | 5.8 |
| 野村不動産マスターファンド投資法人 | 日本・円 | 5.6 |
| ジャパンリアルエステイト投資法人 | 日本・円 | 5.6 |
| 日本都市ファンド投資法人 | 日本・円 | 5.5 |
| 日本プロロジスリート投資法人 | 日本・円 | 4.8 |
| ユナイテッド・アーバン投資法人 | 日本・円 | 3.5 |
| 大和ハウスリート投資法人 | 日本・円 | 3.3 |
| オリックス不動産投資法人 | 日本・円 | 3.2 |
| 積水ハウス・リート投資法人 | 日本・円 | 3.1 |
| 組入銘柄数 | | 48銘柄 |

◆1万口当たりの費用明細

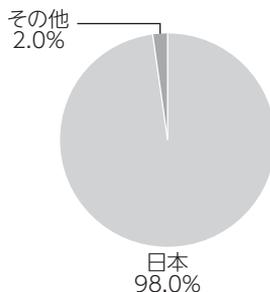
| 項目 | 当期 | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (投資証券) | 23円 (23) | 0.058% (0.058) |
| 合計 | 23 | 0.058 |

期中の平均基準価額は39,497円です。

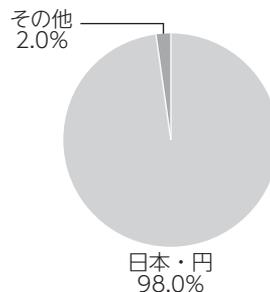
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

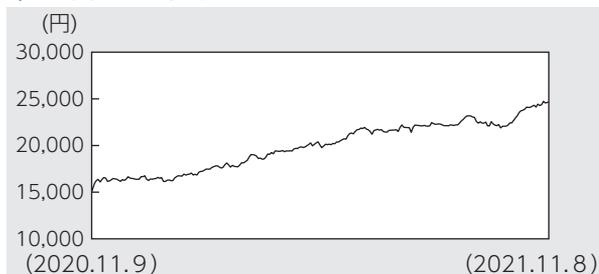
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外リートマザーファンド] (計算期間 2020年11月10日～2021年11月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

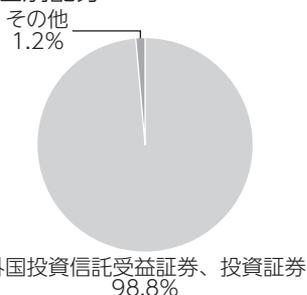
| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|--------------------------|---------|------|
| PROLOGIS INC | アメリカ・ドル | 8.7% |
| SIMON PROPERTY GROUP INC | アメリカ・ドル | 6.3 |
| EXTRA SPACE STORAGE INC | アメリカ・ドル | 4.0 |
| SUN COMMUNITIES INC | アメリカ・ドル | 3.4 |
| CUBESMART | アメリカ・ドル | 3.3 |
| INVITATION HOMES INC | アメリカ・ドル | 3.2 |
| ESSEX PROPERTY TRUST INC | アメリカ・ドル | 3.1 |
| DUKE REALTY TRUST | アメリカ・ドル | 3.0 |
| EQUINIX INC | アメリカ・ドル | 2.6 |
| CAMDEN PROPERTY TRUST | アメリカ・ドル | 2.6 |
| 組入銘柄数 | | 64銘柄 |

◆1万口当たりの費用明細

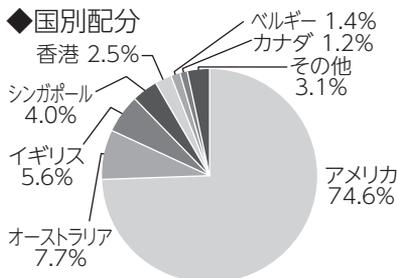
| 項目 | 当期 | |
|-------------------------------------|---------------------|------------------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券) | 35円 (6) (29) | 0.176% (0.031) (0.146) |
| (b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券) | 5 (1) (5) | 0.027 (0.004) (0.024) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 54 (10) (45) | 0.273 (0.049) (0.224) |
| 合計 | 95 | 0.476 |

期中の平均基準価額は19,914円です。

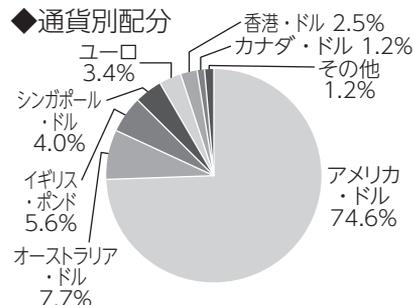
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 国別配分については、上位8位以下をその他の国として表示しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>

●NOMURA-BPI総合

NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

「FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）」は、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（米国ドルベース）に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXの商標に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●MSCI-KOKUSA I 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）

「MSCI-KOKUSA I 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）」は、MSCI-KOKUSA I 指数（グロス配当再投資込み、米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。MSCI-KOKUSA I 指数（グロス配当再投資込み、米国ドルベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）

「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米国ドルベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●東証REIT指数 (配当込み)

東証REIT指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証REIT指数の商標に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース)

「S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース)」は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円ベース) のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

